

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 10 月 15 日 (2015.10.15)

【公開番号】特開 2014-95816 (P2014-95816A)

【公開日】平成 26 年 5 月 22 日 (2014.5.22)

【年通号数】公開・登録公報 2014-027

【出願番号】特願 2012-247467 (P2012-247467)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/20 (2006.01)

G 0 3 F 7/004 (2006.01)

G 0 3 F 7/027 (2006.01)

G 0 2 B 5/22 (2006.01)

H 0 5 B 33/12 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

C 0 8 F 2/44 (2006.01)

C 0 8 F 265/06 (2006.01)

C 0 7 C 323/12 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 B 5/20 1 0 1

G 0 3 F 7/004 5 0 5

G 0 3 F 7/027 5 0 2

G 0 2 B 5/22

H 0 5 B 33/12 E

H 0 5 B 33/14 A

C 0 8 F 2/44 Z

C 0 8 F 265/06

C 0 7 C 323/12

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 9 月 1 日 (2015.9.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

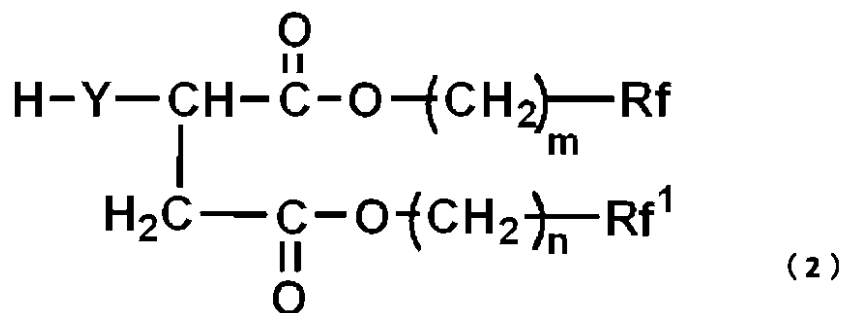
【請求項 1】

3 個以上の (メタ) アクリロイル基を有する化合物 (a 1) と、下記一般式 (1)

$Rf(CH_2)_rZH(1)$

〔式 (1) 中、 $r$  は 0 ~ 20 の整数であり、 $Rf$  は  $-C_nF_{2n+1}$  ( $n$  は 1 ~ 20 の整数である。) であり、 $Z$  は水素原子、炭素原子数 1 ~ 24 のアルキル基を有する窒素原子、酸素原子、硫黄原子、又は  $-SO_2-NR-$  ( $R$  は水素原子または炭素数 1 ~ 24 のアルキル基である。) である。〕で表される化合物、または下記一般式 (2)

【化 1】



〔式(2)中、Yは酸素原子、又は硫黄原子であり、mとnは同一でも異なっても良い1～4の整数であり、RfとRf<sup>1</sup>は同一でも異なっても良い-C<sup>n</sup>F<sup>2n+1</sup>(nは1～20の整数である。)である。〕

で表される化合物(a2)とを、前記化合物(a1)1モルに対して、前記化合物(a2)を0.1～(k-2)モル〔kは前記化合物(a1)1分子中の平均(メタ)アクリロイル基数〕の割合で原料としたマイケル付加反応物である(メタ)アクリレート(A)、アルカリ可溶性樹脂(B)、(メタ)アクリレート(A)以外の重合性化合物(C)及び着色剤(D)を含有することを特徴とするカラーフィルター画素形成用組成物。

【請求項2】

前記(メタ)アクリレート(A)1分子中のフッ素原子含有率が10～60質量%である請求項1記載のカラーフィルター画素形成用組成物。

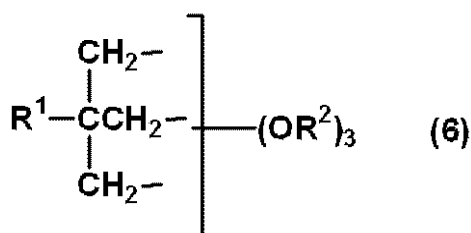
【請求項3】

前記Zが、水素原子若しくは炭素原子数1～6のアルキル基を有する窒素原子、硫黄原子、又は-SO<sub>2</sub>-NR-(Rは炭素数1～6のアルキル基である。)であり、Rf中の炭素数nが4、6又は8である請求項1記載のカラーフィルター画素形成用組成物。

【請求項4】

前記3個以上の(メタ)アクリロイル基を有する化合物(a1)が、下記一般式(6)

【化 2】

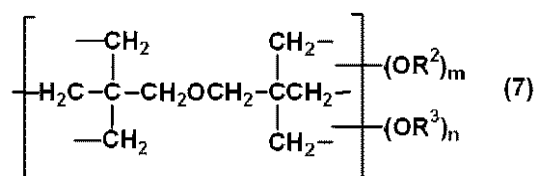


〔式(6)中、R<sup>1</sup>は水酸基、炭素原子数1～24のアルキル基、炭素原子数1～24のアルキルカルボニルオキシ基、CH<sub>2</sub>=CHCO<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>-、CH<sub>2</sub>=C(CH<sub>3</sub>)CO<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>-、繰り返し数が1以上で末端が水素原子若しくは炭素数1～18のアルキル基で封鎖された(ポリ)オキシアルキレン基または炭素原子数1～12のアルキロール基である。R<sup>2</sup>は(メタ)アクリロイル基である。〕

で表される化合物(a1-1)、

下記一般式(7)

## 【化 3】



(式中、 $R^2$  は(メタ)アクリロイル基であり、 $R^3$  は水素原子または炭素原子数 1 ~ 18 のアルキルカルボニル基である。 $m$  は 3 ~ 6 の整数で、 $n$  は 0 ~ 3 の整数で、且つ  $m + n = 6$  である。)

で表される化合物(a 1 - 2)、ウレタン(メタ)アクリレート(a 1 - 3)、シアヌレート環含有トリ(メタ)アクリレート(a 1 - 4)、又はリン酸トリ(メタ)アクリレート(a 1 - 5)である請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項記載のカラーフィルター画素形成用組成物。

## 【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項記載のカラーフィルター画素形成用組成物の硬化塗膜を有することを特徴とするカラーフィルター。

## 【請求項 6】

請求項 5 記載のカラーフィルターを有することを特徴とする液晶表示装置。

## 【請求項 7】

請求項 5 記載のカラーフィルターを有することを特徴とする有機 EL 表示装置。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

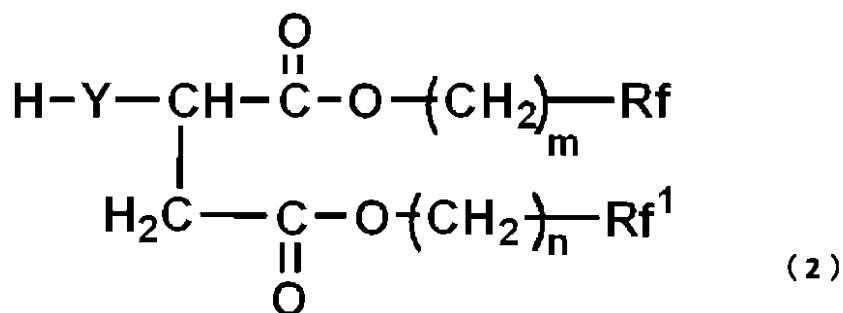
【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【化 1】



〔式(2)中、Y は酸素原子、又は硫黄原子であり、 $m$  と  $n$  は同一でも異なっても良い 1 ~ 4 の整数であり、 $Rf$  と  $Rf^1$  は同一でも異なっても良い  $-C^nF^{2n+1}$  ( $n$  は 1 ~ 20 の整数である。)である。〕

で表される化合物(a 2)とを、前記化合物(a 1) 1 モルに対して、前記化合物(a 2) を 0.1 ~ ( $k - 2$ ) モル〔 $k$  は前記化合物(a 1) 1 分子中の平均(メタ)アクリロイル基数〕の割合で原料としたマイケル付加反応物である(メタ)アクリレート(A)、アルカリ可溶性樹脂(B)、(メタ)アクリレート(A)以外の重合性化合物(C)及び着色剤(D)を含有することを特徴とするカラーフィルター画素形成用組成物を提供するものである。